

令和8年度 第1回気高地域振興会議議事概要

日 時 令和8年4月21日（火）14時00分から16時00分

場 所 気高町総合支所 2階会議室

〔出席委員〕

地原伸、原克栄、大原友美、河根裕二、渡辺雅子、片山敬子、木村明則、
湯口正子、荒尾純子、松井千晶、武田敏男、田中敦志

以上12名（順不同敬称略）

〔欠席委員〕

なし

〔事務局〕

中原支所長、田渕副支所長兼地域振興課長、伊藤産業建設課長、森本市民福祉
課長、小宮地域振興課長補佐

〔傍聴者〕

なし

◎議事概要

1 開会

2 報告事項

（1）令和8年度主な行事・イベントの開催予定について

【事務局】今年度予定されている支所管内での主な行事やイベントの日程、
概要について説明をおこなった。

【委員】町内で様々なイベントが予定されているが、各地区公民館単位での
ものまでは網羅されていないように思う。そういったものを広く町民にいか
に周知していくことが必要であると考えるがそのあたりはどのように考えて
いるか。

【事務局】現時点で各公民館単位での事業は把握しきれていない。その都度
情報が入り次第、ホームページなどの媒体を活用して広く周知していく予定
にしている。

（2）令和8年度主な地域別事業一覧表について

【事務局】今年度実施される予定の事業について、代表的なものを各担当課長より説明をおこなった。

【委員】先ほど地区集会所の修繕・改修等の補助金の説明があったが、地区の集会所が取り壊されると聞いた。取り壊される集会所がある一方で、資料に記載があるように新築や修繕をする集会所があるのはどのような違いがあるのか。

【事務局】あくまでも地区の集会所の改修をするか取り壊すかということは、行政が勝手に決めることではなく、地区内で協議をして決めるものである。資料に掲載されている集会所は話し合ったうえで改修や新築をするかを決め、行政に建設等の補助申請をおこなった団体である。その件については、集落内の役員が話し合った結果があるはずなので、区長等に確認してほしい。

【委員】13番目の項目で温泉配管工事をするということで、敷設工事を具体的にはどういった箇所でおこなうのか。以前グレースタウンの南側の方に温泉を活用した農業ハウスを作ることを聞いていたが、そこまで温泉を引っ張って敷設をされるというような解釈でよいのか。

【事務局】現時点の予定では、勝見地区の一番南の住宅のところ今の温泉集中管理の最後のところの折り返し地点から配管をして、そこから道路沿いに配管ができるような形での設計を考えている。

【副会長】これに関連して温泉を活用した農業ということで企業誘致を進めていると聞いたが、現時点で今後の農業系企業の参入予定などわかっていることがあれば教えてほしい。

【事務局】現時点では企業立地・支援課の方で、企業誘致の営業をかけている状況であり、想定していることはメロン栽培やコーヒー豆栽培などが候補となっている。これについては、企業側の意向もあるが土地を借りて事業を実施することになるため、土地所有者に対しての同意が欠かせないため、今後はそちらとの調整も必要となる。

【委員】23番目の遊漁センターの補助金について、新しい指定管理者になってから約1年が経過している。その間にどのようなイベントが実施され、それが地域にとってどのような影響があったのかを教えてほしい。

【事務局】施設運営をしていくうえでの維持費を予算として計上している。

現在は土日限定で海鮮丼を販売しており、観光協会主催のイベントにも協力していただいている。平日は憩いや交流の場として地域に開放されており、賑わいの拠点づくりとしての役割を担っている。

【委員】例えば観光協会などが隣の漁港でわかめの刈取り体験をされているが、一緒に何かできればよいなと思っているが、そのあたりはどのように考えているのか。

【会長】昨年度県外から募集して、西地域の公共交通を使って鹿野や青谷に行き、途中に観光センターに来てもらって、道の駅のお土産販売や観光ガイドをおこなった。今後は地引網を企画して遊漁センターと一緒にやっていきたいと考えている。

【副会長】13番目の企業誘致推進費で昨年度からエーゼログループが日光地区を中心に調査事業をおこなっているが、研修会などに地域振興未来会議としても参加したい。いつ頃になるのだろうか。

【事務局】1年目である昨年度は調査、研究事業が中心となっており、研修会も限られたものが多かった。2年目である今年度は広く地域に開かれた研修会を実施してもらおうよう、こちらからもあらためて依頼をしておく。

(3) 気高地域学校統合準備委員会（第6回）及び教育環境部会（第1回） について

【事務局】気高地域の小学校の統合等に関連する現状について、2月27日に開催された第6回気高地域学校統合準備委員会及び3月26日に開催された第1回教育環境整備部会の資料を基に説明をおこなった。

【委員】下校時の特に冬場の徒歩児童に対して、通学路になる区域に街灯が増えるのかどうか。

その他気高らしさという言葉がひっかかる。町民の思いがより具体化された学校づくりに取り組んでいただきたい。

【事務局】街灯については、具体的に検討がなされているので、ここでは即答ができないが、今後様々な関係会議があり、安心安全に通学できるよう配慮していきたいというふうに考えている。もう一点の気高らしさというのは、豊かな自然や温泉、貝がら節のふるさとなど、そういったものが気高らしさであると考えており、そういったものに配慮しながら設計へ入っていくので、

ご理解をいただきたい。木造についても木材を使って施設を整備していくというようなことも、気高らしさの一つではないかと理解している。

補足であるが、関係者の会議を庁内でもおこなっており、街灯については、道路の部分とその校舎側部分については必要最低限の部分になるかと思っている。近くに住宅地があるため明かりを嫌う家庭もあり、その部分を勘案しないといけないというような意見が担当課よりあった。新しい道路は現時点の計画では、片側に歩道をつけたものを西側に広げる形で計画をしている。もう一点として、閉校した逢坂小学校関連で、浜村小学校への通学状況ということで、4月8日から新学期が始まり、地区住民の方が登校を見守り、安全確保をおこなった。バスの乗降練習会もすでに実施している。

【委員】新設統合小学校の教育ビジョンたたき台（案）の項目で、木材の表現が多い。気高では林業はそこまで盛んではないため違和感がある。その他、多目的ホールや体育館が既設の小学校より狭くなっていることが気になっている。他にもグラウンドや校舎の建設場所が周りと比べて嵩上げしており、元々水はけがよくない場所に建てられることについて、排水対策はしっかりとできているのかが気になっている。

【事務局】気高らしさで木材の表現が使われていることについては、委員からの意向によるものである。鉄筋で校舎を建築することも方法としてはあるが、木のやさしさやしなやかさ、そういったぬくもりを大切にしたい校舎を建築することが地域の特色を生かしたものになると認識している。多目的ホールの広さについては、支所会議室の1.2倍、コミセン2階会議室の1.5倍となっており、隣に地域交流広場がありさらに隣には体育館入口へと続いているため、広さ以上に様々な使い方ができる。体育館の広さは現町内にある小学校の体育館よりも広くなっており、将来的には空調設置も検討されており現小学校に比べると広さもそうであるがより活用しやすいものになる予定である。排水については、造成高による対応や勝見川放水路の設置計画が県主導で進められていることもあり、現時点よりもより安全に児童が通学できるよう浸水対策などが十分に進められている。

(4) 気高地域の人口動態について

【事務局】 気高地域の人口動態について、資料のとおり全体人口の移り変わりや町別世帯数、人口、年齢別人口について説明

【委員】 町別世帯数、人口のところで傾向はある程度は理解したが、やはりもっと細かいもの集落ごとの人口の移り変わりがないと傾向が掴めないと感じた。もっと細かいものは統計上出ないものなのか。

【事務局】 表については大字でくくっており、統計上集落単位での集計は難しいのでこちらを参考にしてほしい。

(5) 気高地域振興未来会議だより（3号）について

【事務局】 主に昨年度第5回・6回の地域振興未来会議の議事録を掲載している。この内容でよければ今月24日金曜日に町内全戸配布を予定している。

※次回日程について

令和8年5月26日（火）14時からとし、後日改めて連絡する。

以上